

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 61	提案機関名 環境農政局農政部畜産課
要望問題名 改良型種豚の開発に関する現地調査情報の活用	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 畜産技術センターでは平成29年度から系統豚ユメカナエルを活用した改良型種豚の開発に取り組んでいる。この取り組みでは、交配する繁殖成績等が改良された種雄豚の選抜や、育成豚の発育及び体型について生産者代表の方々から意見をもらいながら、本県にあった種豚開発を目指している。 改良型種豚の開発には畜産技術センター内で生産された豚を用いるが、生産者からは飼料や水等の飼育環境が肉質に与える影響が大きいこと、海外の種雄豚精液を利用して生産された肉豚の肉質が神奈川県産として求められる肉質となるか興味があるため現地試験に対する期待が大きい。 このため、改良型種豚の開発に当たっては現地試験にもウエイトを置いて研究を進めてもらいたい。現地試験では繁殖情報のほかに、肉豚（LWD、WLD）と母系種豚である純粋種豚（L雌、WL雌）の肉質についても、必要な項目に絞ってかまいませんので調査を行い、また、官能評価を行うことで、本県にあった肉質をもつ改良型種豚の開発を進めてもらいたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 系統豚を利用した改良型種豚の開発 (H29～R2)			
対応の内容等 要望にあるユメカナエルを活用した改良型種豚の開発は、外部種豚との交配産子が繁殖時期を迎え、農家へ供給する豚を生産する段階です。交配産子の繁殖性評価は当所にて実施予定です。また、農家へ供給する段階の豚の評価は、当所で肉質調査を実施するほか、大ヨークシャー種（W）との交配による組合せ検定で繁殖性を調査します。県養豚協会や養豚農家の協力のもと、普及指導課と連携し供給した豚の繁殖性や肉質調査の現地試験に取り組みたいです。評価内容は、発育性だけでなく、肉質（やわらかさ）や官能評価も項目として実施する予定です。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			